

S H I N A G A W A
R E F R A C T O R I E S
R E C R U I T I N G
G U I D E
S H I N A G A W A
R E F R A C T O R I E S
R E C R U I T I N G
G U I D E
S H I N A G A W A
R E F R A C T O R I E S


私たちは、
耐火物のスペシャリスト。

SHINAGAWA REFRATORIES RECRUITING GUIDE



品川リフラクトリーズ株式会社
SHINAGAWA REFRATORIES CO.,LTD.

〒100-0004
東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル8階
TEL.03-6265-1600 FAX. 03-6265-1616
<http://www.shinagawa.co.jp>

 品川リフラクトリーズ株式会社

1600℃超の世界



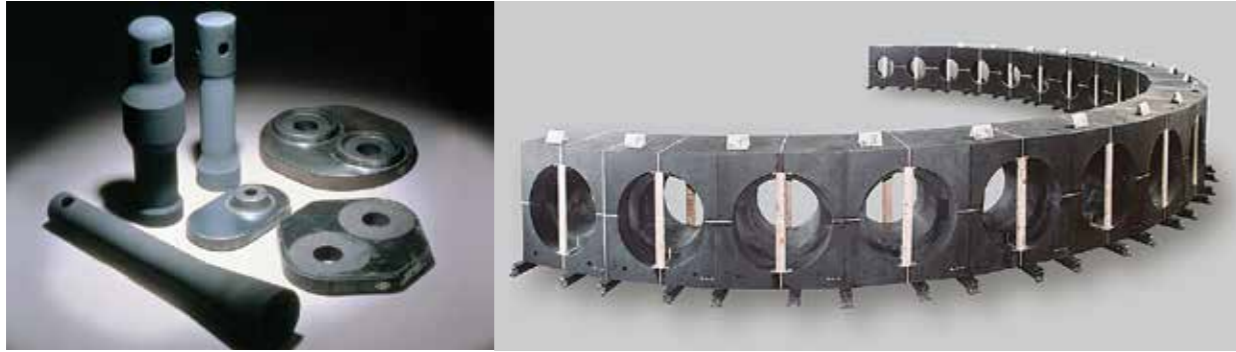
耐火物とは、耐火煉瓦やセラミックスなど高温に耐えられる素材のことで、溶鉱炉など高温熱処理を行なう炉の内張りに使われます。当社の社名にあるリフラクトリーズは、耐火物を意味する英語「Refractories」からきています。

暮らしを支える大切な素材…耐火物。

私たちが毎日のように利用する鉄道や車や船舶、道路や橋、ビルやタワー。そこに使われている重要な素材といえば、鉄です。鉄は1600℃～1800℃という高温の炉の中でつくられます。このため、炉には高温に耐えられる素材…耐火物が必要となります。耐火物は見えない所で私たちの暮らしに役立っています。品川リフラクトリーズは、製鉄用をはじめ、さまざまな耐火物の製造、炉の設計、建設を手がけ、世の中のあらゆる製品や設備、インフラづくりを支えています。

鉄鋼を中心に、あらゆる基幹産業がお客様です。

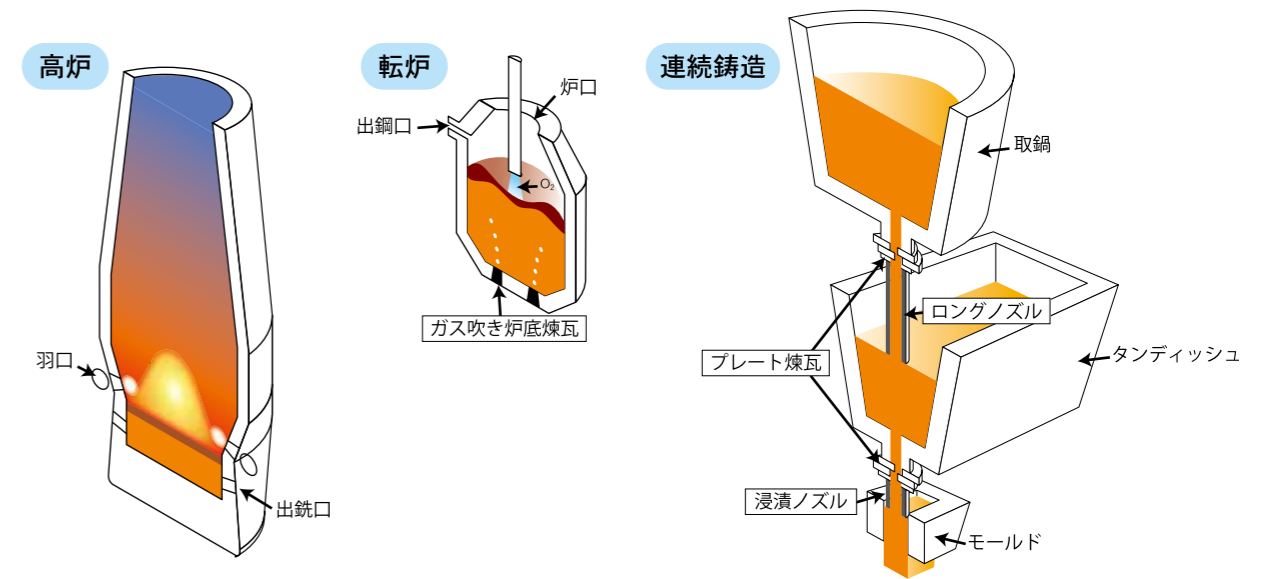
私たちのお客様は、鉄鋼業界をはじめ、銅、アルミ等の非鉄金属、セメント、ガラス、ガス、電力、ごみの焼却など、社会の基盤となるあらゆる産業分野にわたっています。世界トップクラスの耐火物製造技術と高度な築炉技術を軸に、お客様に密着しニーズに的確に応えることで厚い信頼をいただけてきました。いわば産業活動を陰で支える重要な役割を果たしてきたのです。今後も省エネルギー・省力化・環境への配慮など新時代のニーズを先取りしたオンリーワン、ナンバーワン技術の開発を続けていきます。



クライアントは多種多様



耐火物は炉の命



素材生産に不可欠。

耐火物は、鉄、アルミ、銅などの金属やセメント、ガラスなどの原料を溶融したり加熱処理を行なうための炉の内張りに使われます。最も一般的な用途が鉄鋼設備で、高炉、転炉、電気炉、コークス炉、混鉄車など、さまざまな設備があり、当社は設備の種類やニーズに合わせて多種多様な耐火物を提供しています。設備に装備された耐火物は、炉を高温や浸食、摩耗などから護り、熱を遮断し、熱の損失を防止するなど、素材生産になくてはならない重要な役割を果たしています。

歴史とともに育んだ技術と信頼を未来に活かします。

当社の創業は明治8年（1875）。ガス燈のガス発生炉に使う国産初の耐火煉瓦の製造を開始したのが始まりです。以来、140年にわたってさまざまな用途の耐火物を提供し、日本の近代化に貢献してきました。建築用の装飾煉瓦も手がけ、大正3年（1914）に完成した東京駅の赤レンガは当社が納入したものです。昭和24年（1949）には株式を上場（現在、東証第一部、札証）し、現在では売上高1000億円を超える耐火物業界のリーディングカンパニーとして、お客様から厚い信頼をいただいています。



140年の歴史



世界市場がターゲット



グローバル化で世界に飛躍する成長企業。

鉄鋼業界は、成熟し安定傾向にある国内市場に比べ、海外市場は中国などアジア新興国の製鉄所建設が著しく、世界的に成長トレンドが見込まれています。国内シェアでトップクラスの地位にいる当社は、海外市場の拡大に向けてグローバル化を積極的に推進しています。中国、オセアニア、北米などに生産・営業拠点を設けて供給の安定化を図ると同時に、現地耐火物メーカーとの連携強化、既存子会社の競争力アップを図るなど、グループの総力を結集してさらなる成長を目指しています。

事務系

会社を支え、引っばる仕事。 全社一丸で世界NO.1企業を目指そう。



第1営業部 福山営業所 2011年入社

東谷 達矢

●文系出身でも、学ぶ気さえあれば耐火物のエキスパート。

お客様である製鉄会社やセメントメーカーなどに耐火物を売り込むのが仕事です。私の営業所は主に製鉄会社を担当しており、お客様がどんな鉄を製造しているのか、設備の状況や経営状態、気候変動などをきめ細かく知っておく必要があります。そのため毎日のように客先の製造現場に足を運び、自分の目で確かめ直接ご要望を伺います。集めた情報を技術研究所や製造現場にフィードバックし、お客様の要望に応える製品を企画・提案することで、販売につなげます。身に付けるべき知識や情報は膨大ですが、自分の案件が通り、売上につながったときは達成感でいっぱい。私のような文系出身でも、学ぶ気さえあればやり甲斐を持って働ける環境です。



西日本工場 総務室 2012年入社

小菅 和也

●会社の基盤を支える仕事。守備範囲の広さが自分を成長させる。

総務室は、会社が円滑に機能し、社員が気持ちよく働ける環境づくりを担う、いわば緑の下の力持ちです。要員管理、社員教育、福利厚生の実施、諸制度の運用、社内行事の企画など業務は多岐に渡ります。その中で数多くの知識を吸収していくことは大変でもあり、面白いところでもあります。総務の仕事は、立場、年齢、考え方が異なるさまざまな人々と接する機会が多いので、物事を客観的に広い視野で見られるようになります。将来は、マネジメント能力を磨いて会社運営により深く関わっていきたくと思います。



原料資材部 2007年入社

諏訪 毅

●情報力・交渉力を磨いて、製造現場、技術研究所の期待に応えたい。

耐火物原料の調査、発注と価格交渉を担当しています。いかに品質、納期を満たし、安価に安定して仕入れるかが重要で、安価でも品質が悪ければ競争力のある製品はつくれません。調達先は国内、海外とも数多く、外国人との交渉や海外出張もあります。政情不安な国もあり、国際情勢にも気を配るようになりました。交渉がうまくいき、製造現場や技術研究所の要望に応えられたときは喜びを感じます。入社して初めて耐火物を知り、その種類の多さと技術の奥深さに驚きました。今は原料メーカーや製造・技術研究所のスタッフとの関わりを通じて、さまざまなことを学び成長していることを実感します。



築炉事業部 倉敷事業所 製鉄工事室 2012年入社

石原 宏昭

●高炉は生き物。どんな状況にも対応できる施工管理のプロを目指す。

高炉から溶けた鉄が流れてくる樋（とい）と呼ぶ設備に使われる耐火物の材料管理を担当しています。高炉内で突然予想もつかないことが起こり、樋が損傷することがあります。そんなときでも即座に対応できるように、必要な耐火物を調達し、安全な施工をサポートするのが仕事です。普段から現場に赴いて操業状況を確認したり、作業員からの報告により損傷具合を見極めます。高炉や耐火物、築炉技術など豊富な知識が求められますが、現場を回り、さまざまな職種の人と関わっていくうちに多くのことを学んでいます。将来は、どこの現場でも、どんな状況にも対応できるスキルを身につけたいと思います。



西日本工場 岡山製造部 技術室 2011年入社

井上 善裕

●複雑で奥深い。耐火物の世界は、知れば知るほど面白い。

耐火物製造の工程および品質管理が主な業務です。ここでつくっている耐火物は製鋼設備の連続鑄造ラインに使用されるもので、原料を混ぜ合わせ（混練）、プレス機で成形して焼き固め（焼成）で製品化されます。この工程や作業に不具合があると品質や歩留まりが低下し、お客様に満足していただける製品ができません。ときには技術研究所の指示通りにはいかない場合もあり、現場で工夫しながら最適な方法を導き出します。耐火物は他の製品と違い、使う原料の種類が多く、その配合も複雑です。しかも製造現場でしかわからないことも多く一筋縄ではいきません。しかし、そこが耐火物の面白さであり魅力です。



技術研究所 第2研究部 2011年入社

森本 喜久

●耐火物は誰にとっても未知の世界。全員に活躍のチャンスがある。

製鋼設備の樋（とい）と呼ばれる部分に使われる不定形耐火物の開発を担当しています。約1500℃～1600℃の溶けた鉄に直接接触する耐火物は、その損傷をいかに減らし製造コストを抑えるかが研究課題です。毎日原料を配合し、混ぜ合わせて試作品をつくり、試験を繰り返しています。しかし実際のお客様の現場では予想通りにいかないこともしばしば。試行錯誤の連続です。競合他社の先を行く耐火物の開発は、すべてが未知の領域。試験装置を自分たちで開発することもあります。理系文系を問わず、最初から耐火物を知っている学生はほとんどいません。その意味で全員が同じスタートラインに立ち、この業界で活躍するチャンスがあると思います。



ものづくりの面白さを知り、 世界を驚かす製品開発に挑戦しよう。

技術系

幅広いニーズに応える多種多様な製品ラインアップ



あらかじめ成形・乾燥または焼成された耐火物の総称。いわゆる耐火煉瓦のこと。あらゆる工業窯炉と高温処理に使われる。



粉粒体または練り土状の耐火物で、施工枠に流し込み、現場に必要な形状に施工する。



溶鋼の連続鑄造に使用される機能性耐火物で、高度な信頼性を備えている。



軽量、低熱伝導率、高断熱性などの特性を持ち、省エネルギー化に不可欠の素材。

※セラミックファイバー、ファインセラミックス、化成品・その他は当社グループ企業の製品です。



電気絶縁性、耐磨耗性、耐食性、化学安定性、機械的強度など、様々な特性を備えたセラミック素材。



セラミック素材の技術を応用した耐熱塗料、耐熱接着剤、多機能吸着剤、乾燥剤など。

炉の設計・施工・メンテナンスまでを担う築炉・エンジニアリング事業



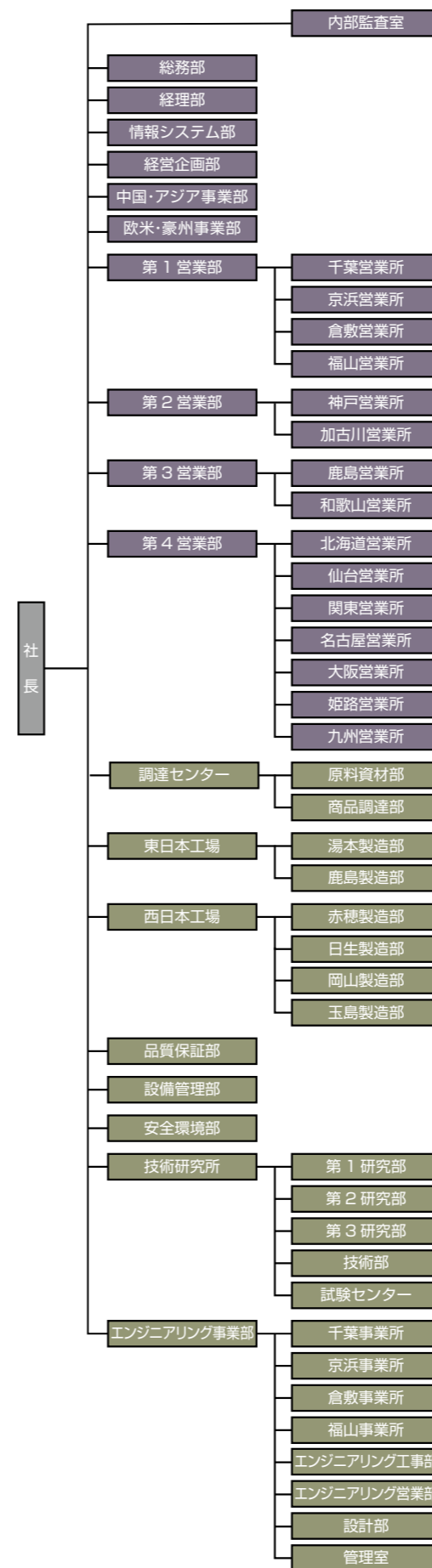
耐火物の製造だけでなく、あらゆる工業窯炉の設計、施工、メンテナンス、さらに耐火物周辺設備の設計、製作まで提供する超高温の総合エンジニアリング事業を展開。それが品川リフラクトリーズです。

業界トップの技術開発力を誇る技術研究所



品川リフラクトリーズの最大の強味は技術開発力。世界トップクラスの研究設備と研究スタッフが、常にお客様のニーズに応え、業界をリードする製品づくりを可能にしています。

組織図



本社及び営業所

■ 本社	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手ビル 8階
■ 千葉営業所	〒260-0835 千葉県中央区川崎町1番地 JFEビル 8階
■ 京浜営業所	〒210-0868 川崎市川崎区扇島1番地1 JFEビル 8階
■ 倉敷営業所	〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目 JFEビル 8階
■ 福山営業所	〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地 JFEビル 2階
■ 神戸営業所	〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町1丁目2番9号 Eビル 5階
■ 加古川営業所	〒675-0131 兵庫県加古川市別府町新野辺字畑下1525番地 加古川神鋼ビル 5階
■ 鹿島営業所	〒314-0014 茨城県鹿嶋市大字光3 新日鐵住金鹿島製鐵所内
■ 和歌山営業所	〒640-8404 和歌山県和歌山市湊1850番地 新日鐵住金和歌山製鐵所内
■ 北海道営業所	〒050-0074 北海道室蘭市中島町2-2-10 アイビル 中島3階
■ 仙台営業所	〒983-0001 仙台市宮城野区港1-6-1 JFE条鋼製構内
■ 関東営業所	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手ビル 8階
■ 名古屋営業所	〒476-0015 愛知県東海市東海町1-1-2 商社ビル 3階
■ 大阪営業所	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目5番13号 淀屋橋ビル 4階
■ 姫路営業所	〒670-0965 兵庫県姫路市東延末3-37 中川ビル 702
■ 九州営業所	〒802-0001 北九州市小倉北区浅野2丁目14番1号 KMMビル 6階

生産拠点及び技術研究所

■ 東日本工場 湯本製造部	〒972-8313 福島県いわき市常磐岩ヶ岡町 岩崎1-1
■ 東日本工場 鹿島製造部	〒311-2103 茨城県鉾田市汲上3900
■ 西日本工場 赤穂製造部	〒678-0232 兵庫県赤穂市中広東沖1576-2
■ 西日本工場 日生製造部	〒701-3202 岡山県備前市日生町寒河180
■ 西日本工場 岡山製造部	〒705-8615 岡山県備前市東片上88
■ 西日本工場 玉島製造部	〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島新渡2852-10
■ 技術研究所	〒705-8577 岡山県備前市伊部707

エンジニアリング事業部

■ 築炉事業部 千葉事業所	〒260-0835 千葉県中央区川崎町1番地 JFEビル 8階
■ 築炉事業部 京浜事業所	〒210-0868 川崎市川崎区扇島1番地1 JFEビル 8階
■ 築炉事業部 倉敷事業所	〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通り1丁目 JFEビル 8階
■ 築炉事業部 福山事業所	〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地 JFEビル 2階
■ エンジニアリング営業部	〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手ビル 8階

関係会社

■ インソライト工業株式会社	〒530-6108 大阪府北区中之島3-3-23 中之島ビル 8階
■ 株式会社セラテック	〒673-0037 兵庫県明石市貴崎5-11-70
■ 帝国産業株式会社	〒705-0024 岡山県備前市久々井1801
■ 品川ゼネラル株式会社	〒705-0022 岡山県備前市東片上88
■ 品川開発株式会社	〒705-0132 岡山県備前市三石2638-2
■ 品川ファインセラミックス株式会社	〒705-0001 岡山県備前市伊部707
■ 品川ロコ株式会社	〒721-0931 広島県福山市鋼管町1番地 JFEビル 8階

海外事業拠点

■ Shinagawa Refractories Australasia Pty.Ltd.	
■ 瀋陽品川冶金材料有限公司	
■ Shinagawa Advanced Materials Americas Inc.	
■ 遼寧品川和豊冶金材料有限公司	
■ Shinagawa Refractories Australasia New Zealand Ltd.	
■ 濟南魯東耐火材料有限公司	
■ 台湾駐在員事務所	